

2019年3月15日 第3282回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 北村 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」
<ゲスト紹介> *横須賀学院中学校 教諭 谷中 哲也 様
<ビジター紹介> *生徒 川島 一真 様 ・鈴木 愛永 様 ・瀧名 杏子 様
大橋こころ 様 ・川名 亮 様
<臨時年次総会> *第1号議案 2020～2021年度会長ノミニー再選出の件
・審議の結果、岡田英城会員を2020～2021年度会長ノミニーとすること
*第2号議案 2019～2020年度理事役員再選出の件
・田邊一三会長エレクトから提案があり、以下の通り承認した。
会長 田邊一三 ・会長エレクト 岡田英城 ・副会長 藤村昌一
幹事 渡邊 磨 ・SAA 鈴木豊司 ・会計 平松廣司
理事 八巻敏博、山下和男、植田威、瀬戸映男、前田長生、
直前会長 北村理和子
副幹事 鈴木孝博 ・副SAA 齋藤眞且 ・監事 高橋秀行 各会員

- <会長報告> *3月10日(日)10000メートル清掃活動 550名参加
*第1グループ会長幹事会 報告
・3月30日開催予定の第1グループIM(Intercity Meeting)の予算が計上され
費用が承認されたので是非出席いただきたい。
・当クラブのマイロータリーのアカウントは現在32名登録という状況、
更に30名程度の登録をお願いしたい。

- <委員長報告> *渡邊副幹事より次年度公共イメージ・米山奨学セミナー 報告
*地区インター・ローターアクト委員会八巻委員より第10回インター・ローターア
クト委員会/IACアクトアズミーティング 報告

- <幹事報告> *横須賀西RC主催「第12回チャリティーコンサート」が4月29日(祝・月)
13:30開演で大明寺を会場に開催される
*ガバナー月信 No.9を配布した
*例会終了後第9回理事役員会、第2回IM実行委員会を開催(例会場)
*3月30日IMの出欠席届が現在30名以上提出されていないので提出願いたい。

- <出席報告> *出席委員会 福西委員長より3月15日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
121名	108名	70名	38名	3名	67.59%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 本日は横須賀学院中学校の皆様ようこそいらっしゃいました。職業体験学習のご報告よろしくお願いたします。
- ・瀬戸、八巻、渡邊、角井、松本剛、波島、兼城、植田、勝間、山・、中村剛、澤田、福西、杵淵、外木、長坂、猿丸、山田真、前川、山田豊、齋藤剛、齋藤真 各会員 谷中先生を初め、横須賀学院中学3年生の皆様ようこそお越し下さいました。報告、楽しみにしています。
- ・二瓶 会員 生徒が大変お世話になりました。頑張った生徒の報告を是非お聞きください。
- ・丸山 会員 旧会員で私の親友の川名寛君の孫が来ました。嬉しいです。
- ・丸山 会員 孫の當山が職業体験でお世話になりました。
- ・松本剛、勝見、大竹 各会員 誕生月祝いとして
- ・三 役 3月10日10,000メートルプロムナードクリーン作戦は天気にも恵まれ、又、準備に

御協力されました皆様大変お疲れ様でした。

- ・物井社会奉仕委員長 10,000メートルクリーン作戦、ご参加の皆様ご苦勞様でした。総勢554名、ゴミの量300kgになりました。チアリーダーの足が高く上がった瞬間のどよめきと光景が忘れられません。
- ・梁井、小平、中村、上林、鈴木、前川、根岸、三堀、松本 各会員
10,000メートルご苦勞様でした。
- ・10,000メートル打ち上げ有志 3月10日クリーン作戦お疲れ様でした。終了後には「玄武」さんで盛大な打ち上げを実施しました。「おにぎり担当」の苦勞話を興味深く拝聴しました。
- ・山寄、田邊、勝見、鈴木、齋藤、八木 各会員
本日の臨時年次総会で決議された議案を全員協力のもと、クラブ発展のために一致団結まい進して参りましょう。
- ・岡田、鈴木、齋藤、前田、八木 各会員 本日ヤンガーザンイエスタディに於きまして、横須賀ロータリーファイネストトレジャークラブバンドのコンサート行います。しっかりとロータリーの広報活動をして参ります。チケット売切御免で入手出来なかった皆様には大変失礼致しました。
- ・外木、藤村 両会員 写真をいただいて

<卓 話> 2018年度 横須賀学院中学校3年生の「職業体験学習報告」

*横須賀学院中学校3年 瀧名 杏子

最初は「横浜銀行」。お金を預かる仕事である『預金業務』・お金を貸し出す仕事である『貸出業務』・お金を送る仕事である『為替業務』という3つの事が銀行での基本の仕事だということを教えて貰いました。融資申請書を書く体験をさせて貰いグループに分かれて友達と話し合ったのですが、企業の事業内容や計画のいい所・心配な所・解決策などを考えないといけなくて大変でした。また、お金以外を保存してある大きな金庫を見せてもらいました。金庫の中には預けた方々の大切なものが入っているので盗みなどが起きないように、2人で開けないと開かないということが驚きでした。普段見ることの出来ない銀行の裏側や仕組みを知ることが出来て楽しかったです。2か所目は「住よし」でした。食品を扱う場所なので、作業場に入るたびに手洗いや消毒、マスクは大切で欠かせないものだという事と、普段コンビニなどで目にしていないお弁当などは、裏では沢山の方々が働いて、人々の生活の手助けをしていることが学べました。この2つの体験は、これから私が歩んでいく将来において大切な経験になったと思います。今後はこれらの経験をふまえ、色々なことにチャレンジしていきたいと思います。中学生の私では普段体験することの出来ないことをやらせて頂いてありがとうございました。学校とは違い、職場にいる方々は皆きっちり自分のやるべきこと、やりたいと思っていることをやっていて、とても羨ましく思いました。今回の体験を通して私も自分の夢を簡単には行かないとありますが、叶えたいと心から思えました。この度は貴重な経験をさせて頂き、どうもありがとうございました。

*横須賀学院中学校3年 鈴木 愛永

「アイビー動物病院」は動物を扱うので、一番は医療器具や、病院に来ている動物たちが触れるところは常に清潔にしているように指導を受けました。もう1つは仕事をするスピードの速さです。例えば今回、犬のシャンプーを手伝った時には、水をかけていて寒くなっているのを風邪をひかないように「2分で洗ってあげてね。」などとかなりハードな指導も受けました。2日目には猫の去勢手術を見学させていただきました。私は正直、手術室に入るのさえ難しいと思っていましたが、優しい先生方が一番いい場所で見学をさせてくださいました。途中から「あそこにある器具をとってくれる？」などと声をかけてもらい、手術の手伝いをさせてもらっている感じがして、なんだかとても嬉しかったです。今回の体験で一番感じたのは命です。私が行ったところは動物病院なので、ここでは生きるか死んでしまうかの瀬戸際にいるのだと改めて思うことができました。職業体験をしてとても間近に必死で働いている大人の姿がありました。どうしても手術をして助けたらどうか、絶対に治してあげたいなどという思いが全面に伝わっていました。私はまだ全く

と言っていいほど自分の将来が決まっていらないのですが、人にありがたうと言ってもらえる仕事に就きたいと強く思いました。なぜなら、病院に来た犬の飼い主さんはみんなが笑顔で「ありがとう」を告げて帰ったからです。そんな仕事につけている人はとても誇らしくてかっこよかったです。とても密度の濃い2日間でした。働いている立派な先生たちの背中を思い出し、今後の自分の未来へと繋げていきたいと思えます。

*横須賀学院中学校3年 川名 亮

株式会社日本水産観光の「にぎり一丁」いうお寿司屋さんにお世話になりました。仕事の内容は実際にお寿司の軍艦を作らせていただきました。お昼の時間帯はとても忙しく次々と注文が入りますが、従業員の方々は少しでも早くお客様のところへ届けるために、厨房の方々は手際よく正確に盛り付けていて、私は言葉が出ませんでした。従業員の眼差しはとても真剣で、誰一人として中途半端な仕事はしていませんでした。ウエイトレスの方々はとても忙しいのにもかかわらず、とてもあたたかい笑顔でお仕事をし、裏でお皿洗いや食材の仕込みをしてくださっている方々も、厨房がスムーズに調理できるよう支えてくださっている姿を見せていただきました。そして、従業員全員の思いがこもった料理を普段の私たちは食べているのだと思いました。他にもお客様への配慮として、一時間おきに従業員の皆様が風邪やインフルエンザ、食中毒などの予防を兼ねて手を丁寧に洗うというのが、ものすごく素晴らしいと感じました。2日間軍艦を作らせていただいたのですが、初めは覚えることが沢山あり大変でした。お寿司によってお皿の色は異なっていたり、盛り付ける軍艦のネタが冷蔵庫のどこに入っていたり、その盛り付けの方法や量、ランチメニューの軍艦の種類、出来上がった料理をお客様の席によって運ぶ所が違って、かなりハードでしたが、働くことに楽しさを感じました。仕事をする上で一番大切だと思ったのは、何事にもまず考えて、ひたむきに努力する事だと感じました。今回はこのような機会をくださった横須賀ロータリークラブの皆様、並びに株式会社日本水産観光の皆様にご心からお礼申し上げます。

*横須賀学院中学校3年 大橋 ころろ

「タリーズコーヒー」で大切なことを3つ教えて頂きました。①食品を扱うので衛生面を徹底して行うこと。②来て頂いたお客様や全ての人にあいさつ、お礼を大きな声で言うこと。③いつでも誰にでも笑顔でいること。この3つを丁寧に教えていただいたおかげで、私は、2日間これを心がけて体験することができました。2日間の中で大変だったことは、レジの仕方や日頃表で見ない業務を覚えることでした。ボタンの種類や清掃の準備などが多く、すぐに覚えるのは難しいと思いました。しかし、2日間を終えた後には、自分自身でも驚くほど覚えていました。それは、お店の沢山の工夫のおかげだと思っています。特に嬉しかったことが2つあります。1つは、困った時や食品が完成した時に働いている方々が助けてくださり、ほめてくださったこと。2つ目は、少し苦手だったコーヒーを飲めるようになったことです。それを働いている方々に伝えたら、「自分達も嬉しいです。」と言って頂いたことが、今でも心に残っています。今回の職業体験で一番学んだことは、常に笑顔で誰とでも話せるようになることが大切だということです。私は人見知りなので、最初は、とても緊張して顔も強張ってしまいましたが、働いている方々の明るさや笑顔によって職業体験を楽しく終えることが出来ました。私は今後、人との繋がりをより一層大切にして、感謝の気持ちを忘れずに、誰でも幸せに出来るような大人になります。私たちにこのようなことを学ぶ機会を作って頂きありがとうございました。この経験をこれから活かして成長できるように頑張ります。

*横須賀学院中学校3年 川島 一真

「JTB」の方々が大切にしている目標は「お客様に最高の旅と思い出を提供する」。旅には日常生活で疲れた心と体をリフレッシュし、家族や友人との豊かな交流を生み出すという力があります。こうした旅の力により出来る最高の思い出を、最高のプランによってお客様にお届けする…これがJTBの方々のモットーだそうです。この話を聞き、これこそがよいプランを作り出せる原動力になるのではないかと感じました。体験中、実際に旅行のプランを考え、それを職業体験と一緒に仲間で発表し合う時間がありました。電車やバスといった交通機関の時刻や路線を調べ、ホテルや観光地の情報もチェックする。そしてお客様の好みに合わせてスケジュールを組む。こうした作業は時間もかかりますし、何よりも情報を見つけた後にそれらを組み合わせてスケジュールを作らなければならないので大変でした。今回JTBでの職業体験を終え、僕が学んだもの…それは、社会貢献ということです。利益や報酬を追い求めることが働くことと思ってきましたが、旅をすることにより感動と思い出を提供したいという思いを持つJTBの方々を見てから、働くことは社会を発展させ、多くの人たちを幸せにするものでもあると考えるようになりました。いつかJTBの方々のように誰かを喜ばせる人になりたいです。最後となりますが、今回の職業体験を通して多くのことを教えてくださったJTBの方々、職業体験がよき実りを結ぶようにと様々なことを企画し、応援して下さった横須賀ロータリークラブの皆様、学校の先生方にお礼申し上げます。どうもありがとうございました！



<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 二瓶 浄 幸